



2023年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年3月30日

上場会社名 株式会社キューソー流通システム 上場取引所 東
 コード番号 9369 URL <https://www.krs.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西尾 秀明
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理担当 (氏名) 伊藤 隆一 TEL 042-441-0711
 四半期報告書提出予定日 2023年4月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年11月期第1四半期の連結業績（2022年12月1日～2023年2月28日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年11月期第1四半期	44,377	2.6	654	5.3	488	△3.5	140	△41.9
2022年11月期第1四半期	43,247	1.4	621	96.7	506	124.4	241	501.6

(注) 包括利益 2023年11月期第1四半期 △1,390百万円 (ー%) 2022年11月期第1四半期 861百万円 (71.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年11月期第1四半期	5.65	ー
2022年11月期第1四半期	9.72	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年11月期第1四半期	113,469	50,421	35.5
2022年11月期	118,976	52,155	34.8

(参考) 自己資本 2023年11月期第1四半期 40,267百万円 2022年11月期 41,390百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年11月期	ー	11.50	ー	11.50	23.00
2023年11月期	ー				
2023年11月期（予想）		11.50	ー	11.50	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年11月期の連結業績予想（2022年12月1日～2023年11月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	183,000	1.9	4,000	8.2	3,550	8.9	1,600	9.7	64.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、[添付資料] 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年11月期 1 Q	25,355,800株	2022年11月期	25,355,800株
② 期末自己株式数	2023年11月期 1 Q	499,116株	2022年11月期	499,116株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年11月期 1 Q	24,856,684株	2022年11月期 1 Q	24,856,793株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料] 3 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が続くなか、経済社会活動の正常化が進み、個人消費などには緩やかな持ち直しが見られましたが、原材料やエネルギー価格の上昇など、先行きは不透明な状況にて推移しました。

食品物流業界におきましては、新型コロナウイルス感染症対策の行動制限が緩和され、人流回復に向かうなか、外食需要に関する荷動きに回復の動きなども見られました。一方、内食需要に関する荷動きは底堅く推移しましたが、食品の値上がりなどの影響も見られました。また、電気代の上昇など、事業環境は厳しい状況が続きました。

このような状況のなか、当社グループは、「徹底力で体質強化」をテーマに掲げ、「機能の強化」「環境変化への対応」「海外展開の基盤拡充」「新領域への参入」の4つを基本方針とした第7次中期経営計画（2022年11月から2024年11月期）を推進しております。既存資源の最大活用による利益率の向上、事業環境の変化に対応した社会的価値の創出、海外における事業の安定化と、更なる展開に向けた基盤強化を進めております。また、食品の温度管理技術を活かした高付加価値物流を提供できる体制構築に取り組んでおります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、営業収益は443億77百万円（前年同期比2.6%増）、営業利益は6億54百万円（同5.3%増）、経常利益は4億88百万円（同3.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億40百万円（同41.9%減）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

(共同物流事業)

共同物流事業の営業収益は、外食需要に関する荷動きに回復の動きなどが見られたものの、物価上昇の影響による出荷物量減少などにより、減収となりました。利益面は、運送・倉庫の効率化や適正料金化施策などが進捗しましたが、減収による利益減少や、電気代や労務費などの費用増加により、前年を下回りました。

この結果、営業収益は305億9百万円（前年同期比0.8%減）となり、営業利益は11百万円（同88.2%減）となりました。

(専用物流事業)

専用物流事業の営業収益は、チェーンストアやコンビニエンスストアに関する既存取引や事業領域の拡大などにより、増収となりました。利益面は、増収による利益増加に加え、コスト改善などが進捗しましたが、労務費などの費用増加により、前年を下回りました。

この結果、営業収益は94億68百万円（前年同期比4.1%増）となり、営業利益は3億26百万円（同4.8%減）となりました。

(関連事業)

関連事業の営業収益は、インドネシアにおける保管や配送の取り扱い物量増加などにより、前年を上回りました。利益面は、増収による利益増加などにより、前年を上回りました。

この結果、営業収益は43億99百万円（前年同期比29.9%増）となり、営業利益は3億19百万円（同82.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ55億6百万円減少し、1,134億69百万円となりました。資産の減少の主な要因は、受取手形及び営業未収入金の減少18億63百万円、有形固定資産の減少20億91百万円などによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ37億72百万円減少し、630億48百万円となりました。負債の減少の主な要因は、短期借入金の増加13億90百万円はありましたが、支払手形及び営業未払金の減少12億46百万円、未払費用等の減少による流動負債その他の減少18億66百万円および長期借入金の減少16億58百万円などによるものであります。

また、純資産合計は前連結会計年度末に比べ17億33百万円減少し、504億21百万円となりました。純資産の減少の主な要因は、為替換算調整勘定の減少9億42百万円、非支配株主持分の減少6億11百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年1月10日の「2022年11月期 決算短信」にて公表いたしました連結業績予想の数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,986	4,191
受取手形及び営業未収入金	21,671	19,807
商品	80	61
貯蔵品	179	215
その他	2,567	2,477
貸倒引当金	△146	△133
流動資産合計	29,338	26,620
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	16,569	15,839
機械装置及び運搬具（純額）	20,103	19,324
工具、器具及び備品（純額）	2,294	2,200
土地	30,066	29,307
リース資産（純額）	2,818	2,801
建設仮勘定	1,911	2,198
有形固定資産合計	73,764	71,672
無形固定資産		
のれん	2,095	1,816
顧客関連資産	2,339	2,064
その他	1,159	1,086
無形固定資産合計	5,594	4,966
投資その他の資産		
投資有価証券	2,343	2,234
敷金及び保証金	4,274	4,261
その他	3,715	3,767
貸倒引当金	△53	△53
投資その他の資産合計	10,279	10,210
固定資産合計	89,638	86,849
資産合計	118,976	113,469

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	14,262	13,016
短期借入金	12,102	13,492
未払法人税等	569	222
賞与引当金	929	1,106
役員賞与引当金	77	22
その他	9,416	7,549
流動負債合計	37,356	35,410
固定負債		
長期借入金	23,730	22,071
長期割賦未払金	379	279
退職給付に係る負債	322	325
資産除去債務	692	693
その他	4,340	4,267
固定負債合計	29,464	27,638
負債合計	66,821	63,048
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,063	4,063
資本剰余金	4,208	4,208
利益剰余金	31,268	31,123
自己株式	△361	△361
株主資本合計	39,178	39,033
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	589	548
繰延ヘッジ損益	△0	—
為替換算調整勘定	1,841	898
退職給付に係る調整累計額	△219	△213
その他の包括利益累計額合計	2,211	1,233
非支配株主持分	10,765	10,154
純資産合計	52,155	50,421
負債純資産合計	118,976	113,469

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年12月1日 至 2022年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年2月28日)
営業収益	43,247	44,377
営業原価	41,063	42,181
営業総利益	2,184	2,195
販売費及び一般管理費	1,562	1,541
営業利益	621	654
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	3	0
養老保険解約差益	—	7
受取賃貸料	16	15
持分法による投資利益	—	0
補助金収入	0	16
その他	36	35
営業外収益合計	58	78
営業外費用		
支払利息	147	199
貸与設備諸費用	12	12
持分法による投資損失	1	—
その他	12	32
営業外費用合計	173	244
経常利益	506	488
特別利益		
固定資産売却益	12	9
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	12	9
特別損失		
固定資産除売却損	13	52
投資有価証券評価損	23	—
貸倒引当金繰入額	0	—
リース解約損	1	0
特別損失合計	38	52
税金等調整前四半期純利益	480	445
法人税、住民税及び事業税	236	195
法人税等調整額	△62	△1
法人税等合計	173	193
四半期純利益	306	252
非支配株主に帰属する四半期純利益	65	111
親会社株主に帰属する四半期純利益	241	140

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年12月1日 至 2022年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年2月28日)
四半期純利益	306	252
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	49	△37
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	500	△1,611
退職給付に係る調整額	4	6
その他の包括利益合計	555	△1,642
四半期包括利益	861	△1,390
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	599	△836
非支配株主に係る四半期包括利益	262	△553

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間 (自 2021年12月1日 至 2022年2月28日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	共同物流 事業	専用物流 事業	関連事業	計		
営業収益						
顧客との契約から生じる収益	30,761	9,099	3,349	43,210	—	43,210
その他の収益 (注) 3	—	—	36	36	—	36
外部顧客への営業収益	30,761	9,099	3,386	43,247	—	43,247
セグメント間の内部営業収益又は 振替高	200	279	1,186	1,666	△1,666	—
計	30,962	9,379	4,572	44,913	△1,666	43,247
セグメント利益	94	343	175	612	8	621

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他の収益は「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる取引であります。

II 当第1四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年2月28日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	共同物流 事業	専用物流 事業	関連事業	計		
営業収益						
顧客との契約から生じる収益	30,509	9,468	4,361	44,340	—	44,340
その他の収益 (注) 3	—	—	37	37	—	37
外部顧客への営業収益	30,509	9,468	4,399	44,377	—	44,377
セグメント間の内部営業収益又は 振替高	260	303	1,247	1,812	△1,812	—
計	30,770	9,772	5,646	46,189	△1,812	44,377
セグメント利益	11	326	319	657	△2	654

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他の収益は「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる取引であります。